

2012 Formula Nippon Rd.4
FUJI SPEED WAY
15 JULY 2012

観客数 : 17,700 人 (天候 : 曇時々雨)

決勝



PETRONAS TEAM TOM'S が富士スピードウェイで行われた 2012 年フォーミュラ・ニッポン第 4 戦で 1 位、2 位を独占した。アンドレ・ロッターが今季 2 勝目を記録、中嶋一貴が 2 位となった。

- ロッターは 1 周目に 8 位から 3 位まで順位を上げた。
- 中嶋はスタートで大嶋に先行を許したが 39 週のピットイン後にトップに立ち、それにロッターが続いた。
- ロッターは中嶋を残し 3 周で捕らえて二勝目を上げた。

Drivers	Car No.	Result / Fastest Lap
Andre Lotterer	1	P1 1:29.215
Kazuki Nakajima	2	P2 1:29.206

Weather	Overcast - Rain- Overcast	
Temperatures	Air: 26-25 C	Track: 33-29 C

アンドレ・ロッター (Driver for car No. 1)

“今日のレースは、いままでのフォーミュラ・ニッポンシリーズ参戦において自己最高のレースだった。8 番手から素晴らしいスタートを切って 1 周目に 3 位となった。中嶋の後ろにつけ、序盤は燃費を考えて走行した。時折雨が降ってきてコースオフしないように走るのは大変だった。雨が強くなった時にエンジンの調子が悪く、ミスファイヤーを起こした。アクセルを踏み込んだ時にパワーが出なくて、その後にいきなりフルパワーになってしまうという現象は出たが、終盤にエンジンの調子は良くなってきた。ピットイン後に中嶋に続いて 2 番手となった。そして、残り 3 周となった第 3 セクターで中嶋を抜けた。勝てて本当に嬉しい。皆さん有り難う”

中嶋 一貴 (Driver for car No. 2)

“第 4 戦富士で 2 位フィニッシュは悪くないが、あと 3 周で勝利を逃したのは悔しい。スタートで大嶋に先行されたけれどチャンスはあると思っていた。特にピットストップのタイミングで抜けると思っていたので焦りはなかった。今日のコンディションはとても大変で、レース中はーフウエット、ドライ、ウエットと何度も変化した。終盤、ロッターは自分よりもーフウエットで調子良かったようだ。再びポイントリーダーになったことを喜ばなければならないのだけれど、本心としては優勝を逃したことが悔しい”

東條 力 (Engineer for car No. 1)

“ロッターは信じられないようなスタートを切って 1 周目にポジションを五つアップしてきた。そして彼は、中嶋の背後でチャンスを伺っていた。一時、エンジンのミスファイヤーを起こしたけれど、ポジションをキープしてくれた。ウエットコンディションをスリックで走行するという難しいドライブを強いられながらも終盤、中嶋を迫って、そして捕らえた。ロッターの素晴らしい走りがチームに再び勝利をもたらした”

小枝 正樹 (Engineer for car No. 2)

“中嶋が頑張って 2 位フィニッシュとなったけれど、トップの座を失ったのは残念だ。スタートで大嶋に先行されてもポジションを入れ替える自信はあった。そして、ピットストップの時にそれを実現できた。その後、勝利へ向けて走行していたが、ロッターが終盤にーフウエットの状態ですべて追いついて来た。次戦では勝利へ向けて勝てるマシンを準備する”

舘 信秀 (Team Director)

“1-2 フィニッシュはこの上なく嬉しい。そして中嶋は 2 位でも悔しいだろう。偉大なドライバー達が素晴らしいレースを展開したことを名誉に思うと共に、これはチーム全体が成し遂げた結果だ。ロッターは予選で不運だったが決勝ではそれを挽回して優勝した。正に世界最高峰のル・マンを制したドライバーの実力だ。そして、中嶋は再びポイントリーダーとなった。今後も二人のドライバーがファンを楽しませてくれることを期待する”